





## みかん一座座長からのごあいさつ



「もったいない！」の輪を広げよう。

みかん一座が、環境ミュージカルに取り組み始めたのは平成6年。

当初は、ごみの分別を徹底させようと訴えるものでした。その後、地球環境はどんどん悪化し、酸性雨・森林の減少・砂漠化・水や空気の汚染・ダイオキシン・異常気象・温暖化など、ニュースで大きく取り上げられるようになり、みかん一座は、毎年さまざまなテーマで環境啓発ミュージカルを各地で公演してきました。その中で常に訴え続けてきたことは、地球を病気にしているのは、私たち人間が便利や快適な生活を求め続けた結果だということです。たったひとつしかない、かけがえのない地球は、そこに住む全ての生き物たちの故郷です。人間だけのものではありません。環境の悪化によって多くの生き物たちの命が奪われています。

今、予想以上に温暖化が進んでいることがニュースで取り上げられていますが、私たちは、その事実を真剣に受け止めなくてはならないと思うのです。そして、今私たちができることを考え行動していかなければ・・・。「もったいないけん！」のミュージカルは、物を大事にする心をテーマにしています。全ての物は地球の資源からできている。その資源を大切にすることが、地球を守っていくことだと伝えていきます。物を大事にする心は、人を慈しむ心にもつながると思うのです。以前「もったいない」という言葉は死語だと言われていましたが、数年前から「もったいない」は、すばらしい日本語としてよみがえりつつあります。ミュージカルの中で「もったいないは感謝のこころ」と歌いますが、「もったいない」の心の子供たちが感じ、毎日の生活の中で生かしてもらえたら・・・と切に願っています。

## 中国四国地方環境事務所保全統括官（高松事務所長）からのごあいさつ



地球の温暖化による地球の危機が現実のものとなりつつあり、このまま進んでしまうと取り返しのつかない影響が生じてしまうことが科学的にわかってきました。

私たちはこの問題を真摯に受け止め、直ちに出来ることから取り組んでいかなければなりません。この地球温暖化の防止のための取り組みは、実は省エネルギー、資源の循環利用等を強力に推進し、大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルを根本から見直すこととなり、リデュース(なるべくごみを出さない、物を大切に使う)・リユース(欲しい人にゆずる、くり返し使う)・リサイクル(原材料にして再び使用する)を行う「3R」の推進に繋がります。

そして、私たちが、普段の生活の中といった身近なところから、これら3Rの推進や地球温暖化の防止のための取り組みを進めるためのキーワードとなるのが「もったいない！」という言葉です。

この「もったいない！」の取り組みを、小学生をはじめとする多くの世代の方に、分かりやすく、そして楽しく理解してもらうための学習資料の1つとして、『環境ミュージカル もったいないけん！』のDVDをお進めます。

出来るだけ多くの方にご覧いただければと考えております。

よろしくお願いいたします。